



『活きている ことわざ』

船橋市議会議員（無所属・5期）

神田 廣栄（かんだ ひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

【所属】市民民主連合（代表）・文教委員会

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

【役職】(元)第60代議長・(現)予算決算委員会委員長 ホームページ <http://www.hiroei.jp>

舌先三寸（したさきさんずん）

◇もっともらしいことを言いながら、誠実さがなかったり、中身がなかったりすること。
また、その言葉。

《解説》「舌先」は、弁舌・言葉。「三寸」は短いこと・薄いこと。

《類句》舌三寸

今号はまず言いたいことから書きました。市議会ではなく国会のことです。

昨年7月10日、参議院議員選挙で287,714票を獲得し比例で当選したNHK党の「ガーシー」議員についてです。彼に対しては「議員」とは言いたくもありませんし思いたくもありません。国外にいて立候補し当選したことはさて置いて、国会が開会しても帰国して出席することを拒んでいます。彼に投票した人で、彼を国会議員として期待して投票した人はいたのでしょうか。面白半分に投票した人が大半ではなかったかと思えます。当選以来、高額な歳費が支給されています。全て税金です。国外にいても「各国の要人と会っている」から仕事をしているんだとうそぶいています。



その党の党首は過去に船橋市議会議員でした。その人は市議会開会中に朝霞市の選挙で応援演説をしていました。職場放棄どころではありません。懲罰問題です。その問題を提起しましたがうやむやで終わってしまいました。今思っても痛恨の極みです。

市民・国民の負託を受けて議員となったわけですから、その仕事を全うすることを最優先しなければなりません。先の方は今、国会法124条に基づく手続きをされる見通しです。国会議員としての歳費の返還と、最も重い処分の国会議員としての地位を失わせてもらいたいものです。直ちに懲罰委員会の設置と処分を強く訴えるものです。

さて市議会の話です。2月14日から新年度の予算を審議する重要な第1回定例会が始まります。これから予算案が議員に配られ、いつもより多い20分の質問持ち時間で質疑することになります。3月24日が閉会予定日となっています。議案質疑は2月22日から3月2日まで6日間あります。是非傍聴されることを願います。その後千葉県議会議員と船橋市議会議員選挙があります。それぞれ低投票率が続いています。いろいろ見聞され是非投票所に足をお運びされますことを念願しております。

令和4年12月議会（第4回定例会）で質問した2項目を掲載します。

① J-ALERT（全国瞬時警報システム）について



この警報システムは、3.11のような大津波が発生した場合にも発令されます。津波は到達するまで時間的余裕はありますが、無謀な北朝鮮のような国が発射する弾道ミサイルは数分間で日本に着弾してしまいます。J-ALERTは戦時中の「空襲警報」と同じです。このような暴挙に出られたら、現状では本市

のみならず日本全土がなすすべもありません。

習志野自衛隊に配置されている「パック3」ではどこまで対処できるものですか。

また、10月4日に北海道方面、11月3日には宮城県、山形県、新潟県に警報システムが発令されました。不幸中の幸いで、本市や千葉県は含まれていませんでしたが、本市は当日どのような対応をされたのですか。

→市長公室長の答弁

「パック3」についてのご質問ですが、国防・安全保障ということで、国の専管事項と考えますので、言及することは避けませんが、国においては、国民の生命・財産を守るために様々な施策を展開していると承知しています。

また、Jアラートから弾道ミサイル情報が発出されたものの、本市は対象となりませんでしたが、危機管理課の職員が参集し情報収集を行いました。今後も国内にJアラートが発出された場合は、勤務時間外であっても危機管理課が自動参集し情報収集を行います。

◎「パック3」でミサイルが着弾する前に迎撃できるものなのか知りたかったのですが、明らかにはできないとのことでした。

本市には万一の時に逃げ込めるシェルターや長い地下道・地下鉄がありません。取り敢えず着弾時の安全を確保できるシェルターを造るなど、65万人の命を守るために「転ばぬ先の杖」、早急な対応を強く望みます。



②自転車の無謀運転、違反運転の対応について

軽車両である自転車の危険運転に対して、東京都警視庁では「徐行せずに歩道歩行」「右側通行」「信号無視」「一時不停止」には、道路交通法違反容疑で書類送検し、罰金を科す「赤切符」を交付することにしました。

本市でも、先に述べた4つの他に、スマホをいじりながらや2列通行している自転車が多く見受けられ非常に危険です。千葉県はもとより、本市でも警察と協議して早急に取り締まり、赤切符を交付するように求めますが如何でしょうか。

→道路部長の答弁

警視庁が取り締まりを強化した背景は、都内の交通事故発生件数が減少傾向の一方で、令和3年の自転車関係する事故の割合が事故全体の43.6%を占め、さらに死亡・重傷事故の78%余りで、信号無視など自転車側に交通違反が相次いでいることを受け、取り締まりを強化する方針を固めたとのこと。

千葉県警では、無灯火やイヤホン、携帯電話等使用などの違反については、指導警告票による警告を、酒酔い運転や遮断踏み切り立ち入り等の危険な行為、警察官の指示に従わずに危険な違反を繰り返す者には、積極的に赤切符を切っていく方針を示しています。本市といたしましては、自転車運転者が交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを実践できるよう、子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象にした交通安全教室の実施、広報紙・市ホームページ、SNS等を活用した広報啓発活動、警察はじめ関係機関と連携した街頭キャンペーンの実施など、引き続き自転車の安全で適正な利用の促進に努めてまいります。



◎便利な自転車も凶器になります。自転車運転を甘くみないようしないと一生取り返しができなくなることを自覚して安全運転を心掛けましょう。